

芦屋港の立地などからみた検討方策

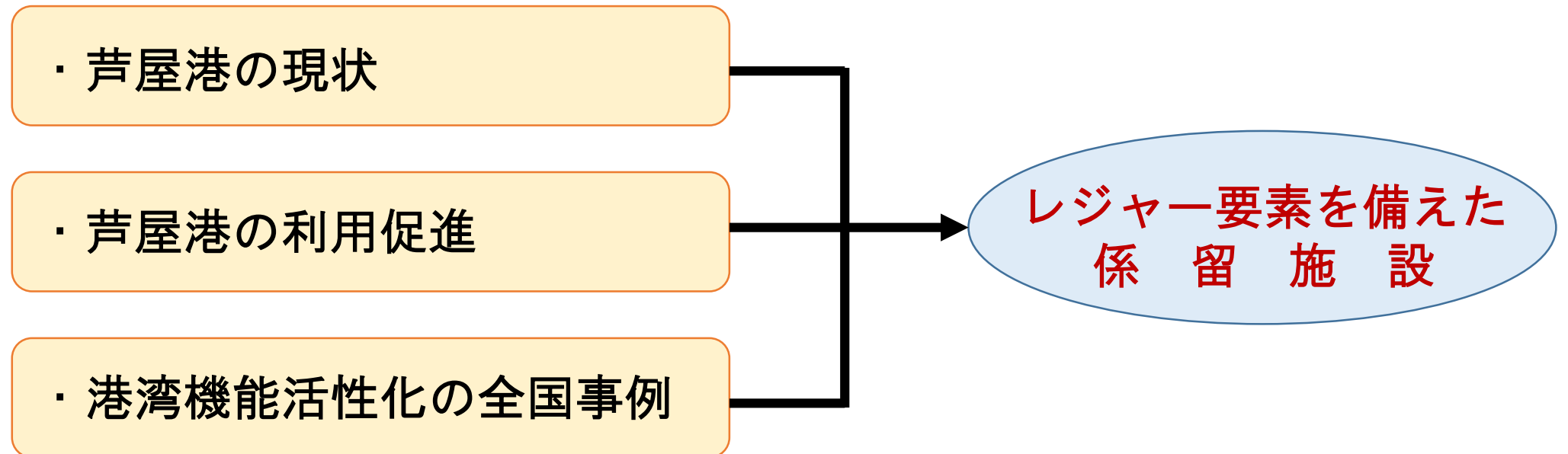
- 1 港湾機能の活性化 → 利用促進
- 2 背後地などの有効活用 → 観光レジャー要素

1 港湾機能の活性化

① レジャーボート係留施設整備の先行着手

○港湾機能の活性化において求められる機能

〔視点〕



1 港湾機能の活性化

① プレジャーボート係留施設整備の先行着手

○ プレジャーボートに関する現状

・ 芦屋港周辺に係留施設が不足 → 遠賀川支流に係留

・ 周辺に係留している利用者アンケートでは、
回答者63名のうち59名（93%）が芦屋
港への係留を希望

→ 資料2参照

○ 国庫補助の確保

1 港湾機能の活性化

② プレジャーボート係留施設専門分科会の設置

・ 検討内容

具体的な整備範囲、規模、配置などの整備内容

・ 委員構成（予定）

〔推進委員会より〕

- ・ 遠賀漁業協同組合
- ・ 有識者

〔推進委員会構成団体より〕

- ・ 福岡県（県土整備部港湾課、北九州県土整備事務所）

〔その他関係者〕

- ・ 一般社団法人日本マリン事業協会九州支部
- ・ 利用者、運営者
- など

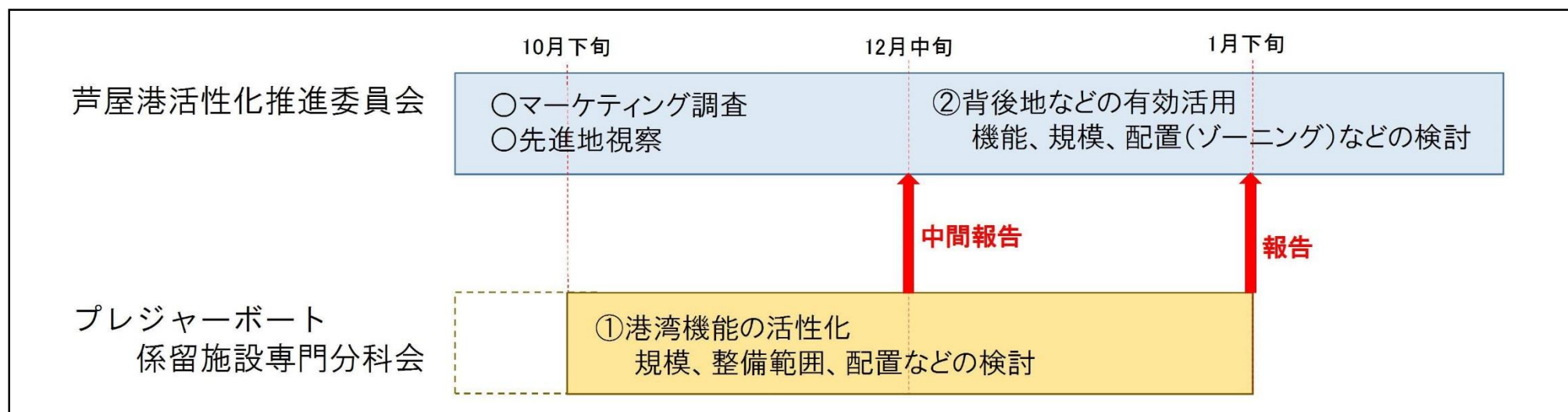
芦屋港活性化の検討のすすめ方について

1 港湾機能の活性化

② プレジャーボート係留施設専門分科会の設置

・ スケジュール

- ・ 10月下旬 第1回専門分科会、事業者ヒアリング
- ・ 11月～ 専門分科会（必要に応じた回数）
- ・ 12月中旬 推進委員会への中間報告
- ・ 1月下旬 推進委員会への検討結果報告



2 背後地などの有効活用

(1) マーケティング調査

- ・ ビックデータからの分析
- ・ 既存データからの分析
- ・ 商圏分析
- ・ 関係者ヒアリング
- ・ その他

(2) 背後地などに求められる機能、規模、配置などの検討

- ・ 機能
- ・ 規模
- ・ 配置（ゾーニング）